

産学官金連携フォーラム

参加費
無料

「東北society5.0 を考える」シリーズ (第2回)

平成30年9月13日木

14時00分～16時30分

定員100名程度

2月に仙台市で開催した東北活性研・産学官連携フォーラム(第1回)では、IoTやAIなど進展著しい先端デジタル技術のイノベーション動向や、こうした技術の社会実装に向けた国内外の取組み事例を紹介し、人口減少下にある東北地域の未来創生のあり方を探る機会を提供しました。

これを踏まえ、同フォーラム(第2回)では、産学官の連携

体制を構築し、地域課題と各大学がもつ研究成果を融合し新たな産業を創出しようとする動きをうかがうと共に、東北を舞台にいち早くIoT、AI等の先端技術を取り入れたユニークな取組みを進めている事例を紹介し、先端技術を使って社会の課題を解決する新ビジネス開発の動きを東北で活性化していくためのヒントを探ってまいります。

場 所

ホテルレオパレス仙台 地下1階イベントホール
仙台市宮城野区榴岡4丁目6-28

申込
締切日

9月3日(月)まで 裏面参加申込書の必要
事項を参考に、Eメールで送信してください。
※FAX又は郵送でも可。

プ
ロ
グ
ラ
ム

14:00～14:05

開会挨拶

東北活性化研究センター 会長 海 輪 誠

14:05～14:45

講

演「東北地域の活性化に向けた取組み」

～山形大学EDGE-NEXT活動&みちのくイノベーション・キャンプ～

講師：山形大学 国際事業化研究センター センター長 小野寺 忠 司 氏

14:45～16:25

事例紹介

- ①東北大学 情報知能システム研究センター(IIS)の取組み事例
水産加工業への応用事例／スマート農業導入実証事例／
スマートファクトリー向けIoTセンサー応用事例等

東北大学大学院工学研究科 情報知能システム研究センター

特任教授 鹿 野 満 氏

- ②山形大学 国際事業化研究センターの取組み事例

スリーアイズ事業紹介と、人口知能の事業活用のポイント

株式会社スリーアイズ 代表牧之内 隆 大 氏

- ③地方自治体と民間企業の先進的な取組み事例紹介(仮)

仙台市 経済局 産業政策部 産業振興課長

白 岩 靖 史 氏

16:25～16:30

閉会挨拶



■ 主 催 東北活性化研究センター、東北大学、山形大学

■ 後援予定 東北経済産業局、中小企業基盤整備機構・東北本部、産総研・東北センター、仙台市、東北経済連合会、
みやぎ産業振興機構、仙台市産業振興事業団、みやぎ工業会、仙台商工会議所、山形商工会議所

「東北society5.0を考える」シリーズ(第2回) 参加申込書

締切：平成30年9月3日（月）

〈申込者連絡先〉

■企業・団体名：

■担当者職・氏名（ふりがな）：

■電話番号：

■E-mail：

参加申込書

E-mail

chisan-2@kasseiken.jp

Fax

022-225-0082

所 属	役 職	氏 名

■アクセスマップ

会場：ホテルレオパレス仙台
(仙台駅東口より徒歩5分)

〒983-0852

宮城県仙台市宮城野区榴岡4丁目6-28

TEL022-706-0001

FAX022-706-0002



仙台市地下鉄東西線
宮城野通駅 南1出口
の正面にございます。

お問合せ ● 公益財団法人東北活性化研究センター

〒980-0021 仙台市青葉区中央二丁目9番10号（セントレ東北9F）

■担当：地域・産業振興部 加川・橋本

■Tel.022-222-3357

■Fax.022-225-0082

■E-mail.chisan-2@kasseiken.jp